

部 会 だ よ り

◆源泉研究部会◆

「第275回研修会を開催」

『誤りやすい源泉所得税Q & A』

東合交易(株) 矢嵐 沙織

2月2日源泉研究部会第275回研修会が開催されました。研修内容は「誤りやすい源泉所得税Q & A」というもので、講師は中野税務署の田中審理官でした。

今回の研修は、部会員が事前に質問を出し、当日回答を頂くという形式でした。私が源泉研究部会の研修会に出席するようになって、丁度2年になりますが、



源泉所得税って結構、煩雑で難しい！

Q & A形式での研修は初めての事でした。質問事項は、全部で6項目あり、私も日常実務の中で気になる事を事前に質問していました。いつもは、本を片手に実務を行っていますが、やはり活字よりも説明を聞く



講師の田中審理官



西條部会長

と理解が深まるものです。今回の研修で、改めて、源泉所得税は課税・非課税の判断やその取扱いが難しいと感じました。また、他社での事例について聞く事ができ、源泉所得税には多くの対象がある事を再認識しました。今後、お聞きした事例と同様のケースがあった時には、参考にさせて頂きたいと思ひます。

◆青年部会◆

「第141回研修会 (管外)」

『介護保険事業の現状と今後』

アサヌマ・コーポレーション(株) 麻沼 雅裕

2月5日青年部会管外研修会が箱根湯本で開催されました。今回は部会員仲間である、在宅介護センター・アスモ (有)石寿水の花堂代表取締役が講師となり、「介護保険事業の現状と今後」と言う表題で講義をされました。



講師の花堂氏

まずは、どのような経緯で介護事業を始めたかの話があり、その後現場での介護活動や介護保険制度についての説明がありました。その事より、経営の難しさや

現場での苦勞を伺う事ができました。また、今後の介護制度の展開や問題点等のお話がありました。花堂講師は、「制度に依存する様な受身の



何れは世話になるので…

姿勢を改め、視野を広げ色々な角度から見る必要がある。」と言っており、高齢化社会からでた「健康志向」と保険制度の「予防介護」に注目した、誰もが使えるコンビニ型フィットネス施設を考えられているようです。

高齢化社会を迎えた事もあり、部会員全員が熱心にお話を聞き、有意義な時間を過ごす事ができました。また、今回は20名以上の部会員又OBの方々も参加され、懇親会も大いに盛り上がり

「東法連・青連協平成17年度全体連絡会議」

恒例の「青連協 平成17年度連絡協議会」が2月23日、ホテルラフォーレ東京で開催されました。矢島部会長始め、6名が参加しました。第一講座は、落語百年目を通して経営に学ぶと題して、噺家の立川談幸師匠が、第二講座は、青年実業家に託す日本の未来と題して、前国税庁長官の大武健一郎氏の講演がありました。又、第二部の交流懇親会では、名刺交換をしながら、大変に有意義な一時を過ごしました。



「東法連・青連協第4ブロック連絡協議会」

3月3日、「巡回評議会」が開催されました。今回は、新宿の担当という事で、真新宿と言えば歌舞伎町…正にそのど真ん中に位置する風林会館で開催され、第一部の講演では、新宿警察より担当者にお出で頂き、「再生 新宿 歌舞伎町」と題して講演して頂きました。当会からは、部会長始め、12名が参加しました。

「東法連・青連協ゴルフコンペ」

3月9日、青梅ゴルフ倶楽部で、青連協ゴルフコンペが開催されました。当会より、木村氏・横山氏・阿部氏・平野氏が参加され熱い戦いが展開されました。